

## 市長コラム

## キャッチボール 第31球



## 新潟市との交流・連携

西条市と新潟市は「千の風になって」のまちづくりをご縁として、文化交流を行ってきました。その交流の中で、篠田昭新潟市長と何度かお会いするうちに、両市は「豊かな水を活かしたまちづくり」の取り組みや、「鉄道ゆかりのまち」という共通点があることがわかり、非常に話が盛り上がりました。せっかくのご縁、今後はこうした共通点を生かして、さまざまな分野で交流を深めていこうとの話が進んでいます。

その第1弾として、6月13日には「危機発生時における相互応援に関する協定」の締結が実現しました。

当日訪れた新潟市の中心商店街では、昭和39年に起きた新潟地震などを教訓に防災を学ぶイベント「ふるまち防災フェスタ」が開催されており、その特設ステージで大勢の市民の皆さんを前に締結式が執り行われました。大規模災害の際には、迅速な相互応援・協力を、平常時には合同研修などを実施することとしています。地理的に同時被災のリスクの少ない両市が助け合うことで、お互いの安全・安心を大幅に高めていけるものと確信しています。

また、7月20日には連携第2弾として、篠田市長をお招きし「新潟市新津鉄道資料館と四国鉄道文化館との姉妹館協定」を締結しました。この鉄道資料館のある新津という場所は、JR東日本の3路線が交差する鉄道の要衝で、古くから「鉄道のまち」として知られています。

いずれも地元が誇る鉄道の資料館ですが、西条の四国鉄道文化館には「ダンゴ鼻」が象徴的な0系新幹線、新潟の新津鉄道資料館には、外見が0系新幹線にそっくりな200系新幹線が展示されています。さらに、「貴婦人」の愛称で親しまれている「C57形蒸気機関車」も両館に展示されており、不思議な縁を感じます。

今回の協定締結により、鉄道をテーマとした連携や展示資料の相互提供等が可能となりました。また、当日は、四国鉄道文化館南館のオープン1周年と合わせて「新潟市観光物産展」を盛況のもと開催するなど、協定を起点に交流の幅が広がり始めました。

今後もこのような交流・連携を活発に行うことで、両市のさらなる飛躍発展につながることを強く期待しています。



▲新津鉄道資料館の200系とC57

## ようこそ市長室・移動市長室へ

市長が、市民の皆さんの声を直接お聞きします。皆さんのご参加をお待ちしています。

- 対象 市内各地域で活動する自治会などのグループや団体  
(1グループ当たり30分から1時間程度)

## ■日時・場所

- 8月17日(月) 9時～ 丹原総合支所
- 8月17日(月) 13時30分～ 小松総合支所
- 8月19日(水) 9時～ 本庁
- 8月19日(水) 13時30分～ 東予総合支所

- 参加方法 各開催日の10日前までに、本庁広報広聴課、または参加を希望される各総合支所総務課へ申し込みが必要です。各場所3団体程度を予定。申し込み多数の場合は先着順。

## ■問合せ

- 市庁舎新館1階  
広報広聴課 広聴係  
TEL0897-52-1243
  - 各総合支所  
総務課 総務調整係
- ※電話番号は14ページ上段